

平成31年4月14日  
今週のベストショット



雁レク軟式3 ソルトベ이스ターズ 対 奈多フェニックス戦

四回表、ソルト真弓選手が追加点を狙うも、ホーム上で阻止する奈多フェニックス香山捕手。

写真：三苦三球会 半田 晃大

**青松園B 新生サンデーズ、強さを見せ白星スタート！**

和白新町パイレーツ（2敗）100001 2 吉田●—大濱

奈多サンデーズ（1勝）10203× 6 塚本○—八島、野々下

HR：古賀（奈多サ）今泉（新町パ） 3BH：宮口（奈多サ） 2BH：岡山、大濱（新町パ）

奈多サンデーズ塚本投手、和白新町パイレーツ吉田投手の好投手の投げ合いとなったこの試合。投手戦も予想されたが、試合は一回から動く。先攻パイレーツは四球とヒットでいきなり走者を得点圏に進め、四番岡本選手がライト線タイムリーで幸先よく先制点を挙げる。尚も一死二三塁のチャンスだったが、ここは塚本投手が踏ん張り最少失点で切り抜ける。するとサンデーズもその裏、四球で出塁した走者を犠打とバットリーミスで三塁まで進めると、三番江口選手の鋭い打球が遊撃手のグラブを弾き、走者が生還してすぐさま同点。これで奮起したか塚本投手、二回以降毎回ランナーを出すも要所要所を打ち取りホームを踏ませない粘りの投球。何とかこの守りの粘りを攻撃に活かしたいサンデーズは三回裏、ランナーを二塁に置き、二番古賀選手が追い込まれてからファールで粘り、8球目。外角のボールを素直に打ち返した打球はセンターの頭を超えていき、なんとランニングHR！粘りが呼び込んだ一打で勝ち越しに成功する。しかし対するパイレーツも四回表、エラーと連続安打で一死満塁。一打同点、長打が出れば逆転の大チャンスを迎える。ここで打席には前の打席で鋭いヒットを放っている三番小林選手。ツーストライク後の4球目、捉えたかと思われた打球は不運にもセカンドの正面へのライナー。これを砂場選手がしっかり捕球し、ランナーが戻れずダブルプレー。あと一本が出なかったパイレーツが、ここでも大チャンス逃してしまう。これで更に勢い付いたサンデーズは五回には満塁から宮口選手の右中間を破るスリーベースで3点を追加し、塚本投手を援護する。何とか粘りを見せたいパイレーツは最終回、一番今泉選手がライトへHRを放ち、1点を返すが反撃もここまで。攻守ともに要所要所で結果を出した新生サンデーズが大事な初戦を白星で飾った！パイレーツもこの試合こそ点数に結びつかなかったが、毎回のようにチャンスを作るいい攻撃ができており、次に繋がる敗戦となった。（記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



完投勝利のサンデーズ塚本投手。



好投したパイレーツ吉田投手。



一回裏、同点打を放つサンデーズ江口選手。



強烈なライナーを身を呈して捕球したパイレーツ吉田投手。



ショートバウンドを華麗に捕球するパイレーツ佐々木一塁手。



三回裏、勝ち越しホームランを放つサンデーズ古賀選手。



必死のプレーも間に合わなかったサンデーズ砂場二塁手。



全力疾走で内野安打をもぎ取ったサンデーズ増田選手。



最終回、意地のホームランを放つパイレーツ今泉選手。



ホームランを放った今泉選手を迎えるパイレーツベンチ。



好ゲームを見せた両チーム。サンデーズ田中監督、パイレーツ白岩監督は同級生。

### 青松園A 粘りのピッチングと！初回からの先制点にて勝利！

三友クラブ (1勝) 120010 4 足達、矢野○-矢野、秋吉

雁の巣ライナーズ (1敗) 002000 2 有馬●-明瀬

HR: 松尾 (三友ク) 正内 (雁の巣) 2BH: 久保田 (美) (雁の巣) 盗塁: 明瀬 (雁の巣)

先週のぼかぼか陽気が嘘のように肌寒い中、今年こそ古豪復活を狙う雁の巣ライナーズと、ここ数年の挽回を狙う三友クラブの開幕戦。先発は、ライナーズ有馬投手、三友クラブ足達投手の両エース。一回表三友クラブは、二番松尾選手の初球をたたくライトオーバーHRにてまずは先制。一回裏ライナーズは、三、四番が四球と死球でランナーに出るものの無得点。二回表三友クラブは、六番秋吉選手のセンター前クリーンヒット、八番坂本選手のライト前ヒット2本とライナーズ守備陣の送球エラーにより2点追加し三友クラブペースに持ち込む。そろそろエンジンをかけないといけないうライナーズは三回裏、九番池内選手がライト前ヒット、続く一番明瀬選手がセカンドに強いライナー性のあたりを放ちエラーを誘うが、池内選手がセカンドでアウト。しかし明瀬選手がすぐさまセカンドへ盗塁成功し、迎えるバッターは三番正内選手。若手の有望株が粘りに粘って捉えた打球は左中間を抜ける2ランHR。1点差に追い上げる。しかし三友クラブは五回表、2本の内野安打で1点を追加し逃げ

切り体制に持ち込む。六回裏からは抑えの矢野投手をマウンドへ送ると、切れのあるライズボールで見事三者凡退に抑えゲームセット。この試合、初回、二回と先制点を奪った三友クラブであったが、ベテランエース足達投手の全盛期を髣髴させる伸びのあるストレートで内野ゴロに打ち取るシーンが目立った試合だった。唯一、三回裏に打たれた正内選手への失投がドンピシャのHRとなったが、ランナーを出しても要所を締める好投が大きな勝因であった。一方ライナーズは、強力打撃陣が奮わず、有馬投手の好投に報いることができなかった。両チームともここ数年なかなか上位に席をおいていないが、爆発力のあるチームだけに上位陣を脅かす目玉になってもらいたい。(写真・記事 ブルーマーリンズ 末松 勝祝)



開幕戦の両チーム。



ライナーズエース有馬投手。



一回表、初球打ち！ライトオーバーHR、松尾選手！



初回の先制点に喜びのチームに迎えられる松尾選手！



三友クラブエース足達投手。



三回裏、常にスチールを狙う明瀬選手！



三回裏、ライナーズ正内選手の2ランHR！



四回裏、サード前、技あり内野安打の国崎選手！



五回表、豪快なスイングの中内選手！



六回表、抑えのリリース、三友クラブ矢野投手！



本日のヒーロー！初回HRの松尾選手とナイスピッチングの足達投手！

**雁レク軟式3 接戦を制し奈多フェニックス初戦をサヨナラ勝ち！！**

ソルトバイスターズ (1敗)	1 0 1 2 0 1 0	5	酒井●—大門
奈多フェニックス (1勝)	0 0 2 1 0 1 2 ×	6	太田○—香山

**HR** : 大門(ソルト) 実延(彰)(奈多フ) **3BH** : 中村(健)、坂本(ソルト) **2BH** : 三坂(ソルト)

**盗塁** : 吉田、真弓(ソルト) 実延(彰)(奈多フ)

奈多フェニックス先発の太田投手は先頭を三振に抑えるも、二番中村選手にレフトへ三塁打を打たれてしまい、続く大門選手のレフトフライの間に先制点を与えてしまう。ソルトベ이스ターズは、三回表にも大門選手のホームランで追加点を奪い、流れがソルトベ이스ターズに傾くと思われた。しかしその裏、フェニックスは、福島選手のヒットなどで追いつく。しかし、ソルトベ이스ターズは四回表に2点、六回表に1点と追加点を奪う。対する奈多フェニックスも実延(彰)のホームランなどで食らいつく。迎えた最終回、ソルトベ이스ターズは無得点。もう点を取らないと負けてしまう奈多フェニックスは、二番福島選手、三番能丸選手、四番実延(新)選手の連続ヒットでチャンスを作ると、相手バッテリーエラーなどで一気に逆転し、初戦をサヨナラ勝利で飾った。

(記事・写真 三苦三球会 半田 晃大)



奈多フェニックス先発の太田投手。



一回表、先制のホームを踏むソルト中村(健)選手。



三回表、ソロホームランを放った大門選手。



四回表、ホームを果敢に狙うも惜しくもタッチアウト！



六回裏、ソロホームランを放った実延(彰)選手。



サヨナラのホームを踏んだフェニックス能丸選手。

## 奈多グラウンド 両チームあと、一本がでず引き分け

塩浜ジャガーズ（1敗1分） 2 0 0 0 2 1 5 内田△-狩野

三苦フレンズ（1分） 1 0 2 2 0 0 5 生野（拓）△-佐藤（由）

HR：松尾、吉村（雄）（三苦フ） 2BH：狩野、立石（塩浜ジ）松尾、生野（猛）（三苦フ）

塩浜ジャガーズは初回、ヒットと四球で生野（拓）投手を攻めると狩野選手の右中間への二塁打にて幸先よく2点を先制。フレンズもその裏、松尾選手の左中間への一発が飛び出しくらいつく。その後、両投手持ち味を出し無得点に抑えるが、三回裏内田投手は、先頭打者に死球を与えるとWPなどでランナー二塁のピンチ。ここで生野（拓）選手自ら同点打を放つと続く佐藤（博）・佐藤（由）選手もヒットで続き一気に逆転に成功。さらに、次の回も制球の乱れた内田投手を攻めたて吉村（雄）選手のホームランを含めた三本の長打でジャガーズを突き放す。完全に流れはフレンズに傾きかけたと思われたが、五回表二死から生野（拓）投手が突如乱れ連続四球を与えると、絶好調立石選手がレフト線への二塁打を放ち1点を返す、なおも制球に苦しむ生野（拓）投手が連続の死四球を与え、押し出しで追加点を献上するも次の打者を三振に打ち取り何とか踏ん張る。続く六回裏、生野（拓）投手は先頭打者を四球で出し苦しい展開。ここで一気に押せ押せのジャガーズだったがバント失敗などで上手く攻撃できない。しかし、生野（拓）投手も苦しい投球が続きついにWPにて同点に追いつかれる。二死ながらジャガーズは頼れるバッター立石選手の打席を迎え勝ち越しを狙うが、センターフライに抑えられ逆転ならず。同点で迎えた六回裏、エラーで得点圏に進めたフレンズ、本日大当たり松尾選手を迎えサヨナラのチャンスであったが、ショートフライに終わりゲーム終了。ジャガーズは六回表を上手く攻撃できていれば展開が変わっていたと思われるだけに悔しい引き分けであった。（記事：奈多クラブ 吉田 貴史、写真：今林 辰也）



三苦フレンズ先発の生野（拓）投手。



塩浜ジャガーズ先発の内田投手。



一回表、先制二塁打のジャガーズ四番狩野選手。



一回裏、右中間へHRの松尾選手。



四回裏、生野（猛）選手の右中間二塁打。



四回裏、俊足を跳ばしてHRの吉村（雄）選手。



五回表、立石選手の豪快な二塁打。



五回表、二死満塁で空振り三振の一ノ瀬選手。



5-5の引き分けで終わり、両軍悔しい握手。





粘りのピッチングの打田投手と先制二塁打の狩野捕手。



HRを打った吉村（雄）選手と松尾選手。